福島県水難救済会

（いわき市．薄磯海岸）

① 設立年月日

平成 12 年 1 月 1 日

② 所在地

〒970-8044

福島県いわき市中央台飯野四丁目３番地の 1

福島県水産会館内

℡：0246-28-9335

◎交通案内

・公共機関

JR 常磐線　いわき駅下車　バス約 30 分

（福島県水産会館）

③ 救難所・支所の数（令和 6 年４月１日現在）

救難所　　12 ヶ所

支 所　　2 ヶ所

救難所員数　620 名

④ 地域の特性

福島県は、太平洋に面し南北に長い県域を持ち、海岸線総延長は約 164km あります。沿岸漁業に加え、まき網やサンマ棒受け網などの沖合漁業も盛んであり、親潮と黒潮が交わる「潮目の海」の恩恵を受け、約 200 種にも及ぶ多彩な魚種が水揚げされます。

福島県水難救済会は、平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災により、各救難所が被災、救難資機材の大部分が流出するなど甚大な被害を受けました。また、福島第一原子力発電所事故による放射能災害により、多くの所員が住み慣れた土地から生活の拠点を変えざるを得ない状況に追い込まれました。このような状況にありながらも、復旧・復興の歩みを続け、現在では、震災前の活動に戻りつつあり、海難救助活動等にあたっております。

⑤ 主な保有資機材

AED 、救命ボート、救命浮環、海水ポンプ、消火ポンプ、ポータブル発電機、拡声器、救難信号、双眼鏡、救命胴衣、ヘルメット、救急セット等

⑥ 保有救助船

各救難所の救助可能船舶等

約 360 隻

⑦ 主に力を入れている事業

（１）救難所員実施訓練

海上での災害事故への出動に際し、救難所員の安全確保及び迅速かつ効率的な活動を行うため実情に即した訓練を通じて、救助に関する知識や技能の習得、救難器具の取扱方法を学ぶことにより、所員の技術向上に努めております。

(孤立者救助訓練)

（膨張式救命筏の投下訓練)

（２）青い羽根募金事業

毎年 7～8 月を「青い羽根募金強化運動期間」として募金活動を実施し、募金への協力を呼び掛けています。また、県内に設置している「青い羽根募金支援自販機」の売上金の一部が青い羽根募金として寄付されています。

(青い羽根募金活動)

(青い羽根募金支援自販機)

（３）管内救難所救難体制の整備

救難体制の強化を図るため、青い羽根募金等を有効に活用し、定期的に各救難所へ需要調査を行い、資機材の整備を行っています。